

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年12月22日(2011.12.22)

【公開番号】特開2010-138139(P2010-138139A)

【公開日】平成22年6月24日(2010.6.24)

【年通号数】公開・登録公報2010-025

【出願番号】特願2008-317897(P2008-317897)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/97 (2006.01)

A 6 1 Q 19/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/97

A 6 1 Q 19/02

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月5日(2011.11.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0082

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0082】

[試験方法]

10% FBS 含有イーグル最小必須培地で 試料溶液を 5.0%、10.0% の濃度（溶液として）となるように希釈した液に置換する他は、試験例 2 と同様にして行った。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0100

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0100】

【表 9】

試料	保管条件	観察項目	保管日数 (日)									
			3	5	7	14	21	30	45	60	75	90
製造例 1	室温	沈殿・濁り	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		変色・着色	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4℃	沈殿・濁り	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		変色・着色	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	40℃	沈殿・濁り	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		変色・着色	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
製造例 3	室温	沈殿・濁り	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		変色・着色	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4℃	沈殿・濁り	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		変色・着色	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	40℃	沈殿・濁り	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		変色・着色	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
製造例 2	室温	沈殿・濁り	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		変色・着色	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4℃	沈殿・濁り	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		変色・着色	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	40℃	沈殿・濁り	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		変色・着色	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
製造例 4	室温	沈殿・濁り	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		変色・着色	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4℃	沈殿・濁り	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		変色・着色	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	40℃	沈殿・濁り	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		変色・着色	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
比較製造例 1	室温	沈殿・濁り	○	○	○	△	△	×	×	×	×	×
		変色・着色	○	○	○	○	△	×	×	×	×	×
	4℃	沈殿・濁り	○	○	△	△	×	×	×	×	×	×
		変色・着色	○	○	○	○	○	○	○	△	×	×
	40℃	沈殿・濁り	○	○	○	△	△	×	×	×	×	×
		変色・着色	○	○	○	△	×	×	×	×	×	×
比較製造例 2	室温	沈殿・濁り	○	△	△	×	×	×	×	×	×	×
		変色・着色	○	○	○	△	×	×	×	×	×	×
	4℃	沈殿・濁り	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×
		変色・着色	○	○	○	○	○	○	○	△	×	×
	40℃	沈殿・濁り	○	△	△	×	×	×	×	×	×	×
		変色・着色	○	○	○	△	×	×	×	×	×	×

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0104

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0104】

結果を表10に示す。

【表 10】

試料	ろ過経過時点に於けるろ過液量 (ml)					
	20分	40分	60分	80分	100分	120分
製造例1	42	65	78	88	91○	—
製造例3	33	51	62	70	79	87○
製造例2	46	69	81	90○	94○	—
製造例4	36	54	68	75	80	90○
比較製造例1	12	18	20	22	23	24
比較製造例2	3	5	7	10	11	12

注) ○印は、ろ紙上に残液がなくなっている状況を示す。